

新型コロナと合わせて対策しましょう

冬に多い感染症に注意

冬は感染症の集団発生が起こりやすい時期です。新型コロナの基本的な感染対策を徹底しながら、感染性胃腸炎とインフルエンザの正しい知識と予防方法を身に付け、冬を元気に過ごしましょう。

【問】指導予防課 ☎603-8244
【広報 | D】1006585

感染性胃腸炎

代表的な感染はノロウイルス

感染性胃腸炎はウイルスなどによる感染症で、特に秋から冬にかけて流行します。代表的なノロウイルスは感染力が強く、少量のウイルスでも集団感染につながる恐れがあり注意が必要です。

主な感染経路

ウイルスに感染した人が調理した食品を食べる、便や嘔吐物を処理したとき手に残ったウイルスが口に入る、汚染された二枚貝などをよく加熱せずに食べる——などが主な感染経路です。

主な症状

感染後平均24～48時間で、下痢や嘔吐、腹痛、発熱などの症状が出ます。通常は3日以内に回復しますが、症状がなくなった後も1～3

週間程度、便にウイルスが含まれます。高齢者や乳幼児は嘔吐物を気管に詰まらせたり、下痢による脱水症状が重症化したりする場合があります。症状がある場合は、早めにかかりつけ医などで受診しましょう。受診する際は、医療機関に事前に電話相談の上、受診してください。

自分や家族が感染してしまったら

- ▶ 脱水症状にならないよう、水分を補給する
- ▶ 手を小まめに洗い、個人専用のタオルで手を拭く
- ▶ 入浴する場合、感染者は一番最後に入る
- ▶ 便や嘔吐物を処理するときは、マスクとゴム手袋を着用する。床などに付いた場合は取り除いたらその部分を消毒する。汚れた衣類は汚物を水で流してから消毒し、他の衣類と別に洗濯する
- ▶ よく触れるドアノブや水道の蛇口、手すりなどを消毒する

感染性胃腸炎の予防方法

▶ 調理器具は85度以上で1分間以上加熱する。布巾などは家庭用塩素系漂白剤を薄めた液に浸すなど、十分に消毒する

※アルコール消毒だけでは、十分な効果がありません



▶ 調理前や食事前、トイレの後などにはせっけんで手を洗い、十分に洗い流す



▶ カキなどの二枚貝は中心部まで十分に加熱する



インフルエンザ

主な症状

インフルエンザウイルスに感染すると1～5日間の潜伏期間を経て、急な発熱や頭痛、関節痛、倦怠感などが3～7日間続きます。症状がある場合は、早めにかかりつけ医などで受診しましょう。受診する際は、医療機関に事前に電話相談の上、受診してください。

インフルエンザが流行し始めたら

高齢者や子どもに限らず、幅広い年齢で重症化する傾向があります。特に1人暮らしや高齢者の世帯は孤立しがちなので、近所で気を配り合いながら見守りましょう。

自宅療養での注意点

▶ 発症後5日間かつ解熱後2日間（乳幼児は

3日間）は、自宅で十分な休養と栄養を取り、外出を控える

- ▶ できるだけ個室で療養し、マスクを着用の上、手洗いを徹底して家族間での感染を防ぐ
- ▶ 医療機関で処方された薬を確実に服用する
- ▶ 未成年者はまれに意識障害を起こしたり、異常行動を取ったりする場合があります。1人にしないよう見守る
- ▶ 治療しても呼吸が苦しい、熱が下がらない、意識がぼんやりするなどの症状がある場合はすぐに医療機関で診てもらう

Point インフルエンザと新型コロナは初期症状が似ているため、症状の始めで見分けることが困難です。小学生以下の子、妊婦、基礎疾患のある人、高齢者の人は疑われる症状が出たら、かかりつけ医への相談を検討しましょう。

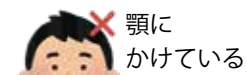
咳エチケット

マスクをせずに咳やくしゃみをする、そのしぶきは2～3m飛ぶといわれています。風邪やインフルエンザの患者は1回の咳で約10万個、1回のくしゃみで約200万個のウイルスを放出するというデータも。マスク着用や咳エチケットは、感染を広げないための、周囲の人に対する思いやりです。

- ▶ 咳やくしゃみをするときは周囲の人から1～2m以上離れ、ティッシュペーパーなどで口と鼻を押さえます
- ▶ 鼻水やたんなどを含んだティッシュペーパーはすぐにごみ箱に捨てましょう
- ▶ 咳やくしゃみを押さえた手、鼻をかんだ手はすぐに洗いましょう

正しいマスクの着け方

- 隙間ができないよう鼻に沿わせる
- 顎まできちんと覆う



インフルエンザは、発症する1日前からでも感染することがあります。咳エチケットと手洗いで感染を予防しましょう

インフルエンザの予防方法

▶ マスクをする



▶ 外出後や食事前は小まめにせっけんで手を洗い、十分に洗い流す



▶ 十分な栄養と睡眠、適度な運動で体力を付ける



▶ 部屋の換気を十分に行いつつ、加湿器などで湿度を保つ



▶ 重症化を防ぐため、早めに予防接種を受ける



※医療機関によっては、新型コロナワクチン（オミクロン株対応ワクチンを含む）と同時に接種できます。かかりつけ医などと相談し、接種を検討してください

人事行政の運営状況を公表

市には、一般行政職や技能労務職、保健師、看護師、保育士など、さまざまな仕事に従事する職員がいます。これら職員の人数や任免、給与、勤務条件などをお知らせします。

市の職員数や給料

【問】職員課 ☎626-7505
【広報 | D】1041128

【表の見方】特に説明が無いものは令和3年度の状況
企業職：上下水道局と市立病院の職員

1 職員数

効率的な行政活動のため、事務事業や組織機構の見直し、業務委託などを進め、適正な定員管理に努めています。

■職員数の状況（各年とも4月1日現在）

区分	令和3年	令和4年
職員数	2200人	2239人



■採用・退職人数

区分	人数	
採用	令和3年4月1日付け 令和3年4月2日～ 4年3月31日付け	146人 18人
退職	147人	

※参考 令和4年4月1日付け採用：168人



■職種別人員構成（令和4年4月1日現在）

区分	人数
一般行政職	1200人
企業職	441人
技能労務職	234人
税務職	118人
福祉職	75人
医療職	101人
教育職	70人
計	2239人

2 給料や手当など

職員給料の昇給区分は、前年度の勤務成績に応じ、毎年4月に決まります。給料とは別に支給する手当には、扶養手当や住居手当、通勤手当のほか、民間企業の「ボーナス」に当たる期末・勤勉手当などがあります。

■人件費の状況

歳出総額(a)	人件費(b)	人件費率(b)/(a)
1365億5389万円	159億7650万円	11.7%

■職員給与の状況

職員数(a)	給与費(b)
1709人	106億6615万7000円
給料	68億1500万8000円
内訳	
職員手当	13億8362万3000円
期末・勤勉手当	24億6752万6000円
1人当たりの給与費(b)/(a)	624万1168円

※職員手当には退職手当を含みます

■ラスパイレス指数の推移（一般行政職・各年とも4月1日現在）

給料の水準を示す「ラスパイレス指数」は、国家公務員の給料総額を基準（100）として、市職員と国の職員構成が同じと仮定した場合の給料総額の比を表します。

区分	30年	元年	2年	3年
指数	99.9	99.6	99.4	99.0

■平均給料月額と平均年齢（一般行政職・令和4年4月1日現在）

平均給料月額	平均年齢
30万3299円	40.8歳

■初任給と経験年数・学歴別平均給料月額（一般行政職・令和4年4月1日現在）

区分	大学卒	高校卒
初任給	18万3800円	15万1900円
経験年数10年	25万8748円	—
20年	35万1786円	30万9100円
25年	37万9021円	36万5300円
30年	39万679円	36万4863円

■扶養手当などの状況（令和4年4月1日現在）

区分	内容
扶養手当	他に生計の道がなく、主として職員の扶養を受ける親族などがいる職員に支給 <配偶者・父母など> 月額6500円 <子>月額1万円※年齢による加算あり
住居手当	月額1万2000円を超える家賃を支払う職員に支給（限度額2万7000円）
通勤手当	片道2km以上の通勤距離で、バスなどの交通機関や、自動車などの交通用具を使う職員に支給

■時間外勤務手当の状況

年度	支給総額	1人当たり	
		支給年額	年平均時間
2	5億1574万5974円	32万1737円	131.9時間
3	6億2003万3914円	39万203円	154.0時間

※企業職分を除く

■期末・勤勉手当の支給割合

6月	2.225カ月分	12月	2.075カ月分
----	----------	-----	----------

■特別職の報酬など（令和4年4月1日現在）

区分	報酬など月額	期末手当
市長	113万8000円	3年度支給割合 <6月期>1.675カ月分 <12月期>1.575カ月分 計3.25カ月分
副市長	88万2000円	
議長	71万1000円	
副議長	64万5000円	
議員	61万7000円	

■退職手当の状況

支給総額	1人当たり支給額（定年・勲奨）
10億3680万1204円	2156万8074円

※特別職と企業職分を除く

3 休暇や休業

区分	男性	女性	計
介護休暇	0人	1人	1人
育児休業	27人	84人	111人
部分休業	2人	9人	11人
年次有給休暇	3年1月1日～12月31日の平均取得日数12.0日		

部分休業：子の養育のための勤務時間の一部休業

4 処分

分限処分	休職	降任	免職	—	計
	40人	0人	0人	—	40人
懲戒処分	戒告	減給	停職	免職	計
	1人	1人	2人	2人	6人

分限処分：病気などのために職務を十分に果たせない場合など、公務の能率を維持するために行う処分
懲戒処分：法令違反などがあつた場合などに、規律と秩序を維持するために行う処分

5 退職

■退職者の営利企業などへの再就職の状況

対象	退職者	うち再就職者
課長級以上	24人	8人
市立高校および市立学校の校長	23人	2人

6 研修

区分	一般研修	派遣研修	特別研修	計
実施回数	16回	48回	16回	80回
延べ受講者数	682人	81人	1233人	1996人

一般研修：新採用研修など
派遣研修：自治大学校など
特別研修：交通安全講習会など

7 福利厚生など

■健康診断の実施状況

区分	定期健康診断	特殊健康診断	特別健康診断	計
実施回数	9回	3回	32回	44回
延べ受診者数	2167人	154人	6874人	9195人

定期健康診断：胸部・循環器系検診
特殊健康診断：塩素・深夜業務従事職員検診
特別健康診断：胃部、乳がん検診など

■福祉と利益の保護

市は、地方公務員法第42条に基づき、市職員互助会（令和4年4月1日現在の会員数1984人）や市上下水道局職員互助会（同208人）で、保健事業など各種の福利厚生事業を行っています。また、県内の市町村職員を会員とする県市町村職員健康福利機構に加入しています。

■公務災害・通勤災害の認定状況

公務災害	通勤災害	計
20人	3人	23人